

60 Games

Booster

Exhibition

BamVenus

黒字化までの途中経過のご報告

これまでのご支援、本当にありがとうございます

Communication

New Amusement in Nara

クラウドファンディング、第一目標達成



これまでのご支援、本当にありがとうございます

バンビシャス奈良 財務基準によるB3降格回避に向けて



バンビシャス奈良

Next GOAL
挑戦中



支援募集終了日までに集まった支援金をプロジェクト実行者は受け取ります(All-or-Nothing方式)。支援募集は3月26日(火)午後11:00までです。

第一目標
達成

支援総額

5,795,000円

NEXT GOAL 10,000,000円

(第一目標金額 5,000,000円)

115%

支援者 残り

419人 11日

応援コメント



しまこ

17分前

応援してます!



土井智史

22時間前

頑張ってください、応援しています!

プロジェクトの支援にすすむ

♡ 62

黒字化に必要な4,000万円まで、残り1,500万円
Next GOALのご支援もどうぞよろしくお願いいたします!

途中経過のご報告・今後のビジョン

目次

1. 現在のバンビシャスの状況
2. みなさまへのお願い
3. B2ライセンス維持、その先のB.ONE参戦へ
4. B.LEAGUE ONEは全国に広がる
5. B. LEAGUE ONEの制度設計(抜粋)
サラリーキャップとプレーオフ
6. 今回のご支援がバンビシャスと奈良の未来をつくる
7. これまでのご支援の進捗 (3/14までの確定分)

株式会社バンビシャス奈良

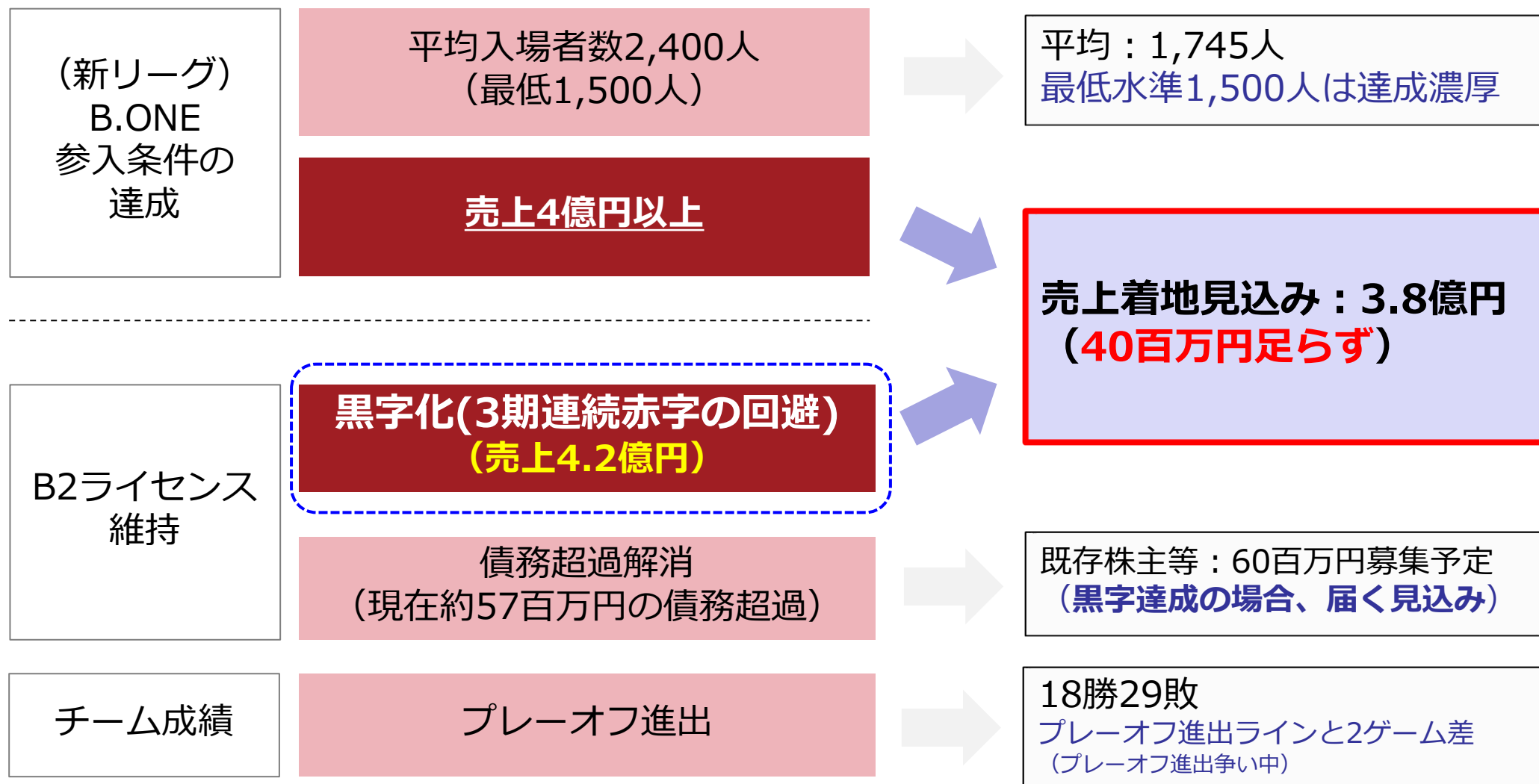


1. 2月末時点のバンビシャスの状況



- B.ONE参戦とライセンス維持に必要な黒字化まで4,000万円足りていません

2023-24シーズンの目標に対しての進捗



2. みなさまへのお願い



バンビシャスは目標比で収益が**40百万円不足**しており、
ライセンス不交付*による『**B3への降格**』を
なんとしても回避したいと考えております。

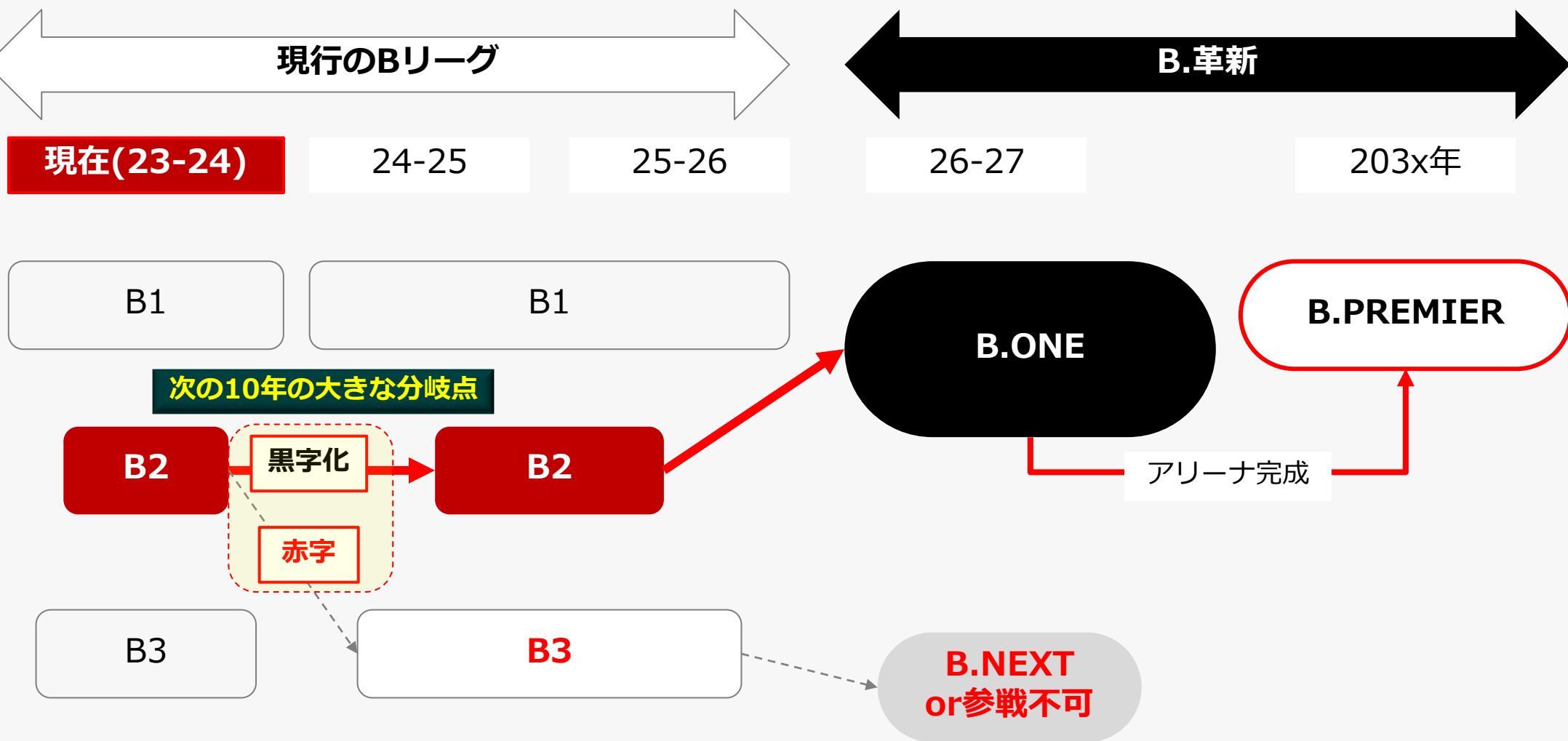
40百万円の売上増につながる**追加のご支援を
全方位の皆さま**にお願いしております

パートナー企業様：追加のご協賛
ファン・ブースターの個人の方：[クラウドファンディング](#)や会場での募金、寄付

ここを乗り越えればクラブの未来が開けます

新リーグ審査『**B.LEAGUE ONE参入**』の
条件もクリアする見込みが立ちます

3. B2ライセンス維持・残留、その先のB.ONE参戦へ



今シーズン黒字化できなければ**B3へ降格**し、2026年以降のB.ONEにも入れない。
一方で、今季は平均入場者1,500人以上の見込みがあり、黒字化で**B.ONE参戦が一気に近づく**！

4. B.LEAGUE ONEは全国に広がるトップリーグ



	B.LEAGUE PREMIER	B.LEAGUE ONE
初年度の想定クラブ数※	14～24クラブ	26～34クラブ
コンセプト	<p>世界水準の競技力</p> <p>最高峰のアリーナとエンターテインメント</p> 	<p>シビックプライドをかけ 全国で繰り広げられる <u>地域vs地域</u>の戦い</p> 
競技面の特徴	<p>NBAに次ぐ第二のレベルの外国籍選手</p> <p>それと互角に渡り合う日本代表クラスの <u>少数精鋭の選手</u></p>	<p><u>全国</u>への普及と育成、出場機会の創出</p> <p>地元出身プレイヤーをはじめ、 <u>日本人が中心</u>となる</p>
ライセンスの主な要件	売上高12億円、平均入場者数4,000人、アリーナ基準の充足(スイート・ラウンジ等)	<p>売上高4億円、<u>平均入場者数2,400人</u></p> <p>3期連続<u>赤字</u>や<u>債務超過</u>の解消</p>

出典) B.LEAGUE資料

※初年度見込みクラブ数は売上高以外の要件の充足見込みや最大クラブ数状況を加味。また、B3クラブを含めた56クラブを対象としている

B.ONEは全国に展開する日本のトップ級リーグとして地域vs地域の戦いを繰り広げます (≠B2)

5. B.ONEの制度設計(抜粋)：サラリーキャップ・プレーオフ



- サラリーキャップによる戦力均衡でリーグの盛り上がりを創出する。プレーオフも16クラブが出場し、多くの地区代表クラブが優勝を争う。

→バンビシャスはB.ONE初年度優勝を目指し、奈良が日本一になる瞬間を届けたい

B.ONEのサラリーキャップ

	本入会	仮入会
キャップ (上限)	4億円	4億円
フロア (下限)	1.5億円	1億円

接戦を増やし、魅力あるリーグ(=戦力均衡)を実現

B.ONEのプレーオフ

【出場クラブ】	16クラブ
【方式】	2戦先勝
【開催場所】	PS進出上位クラブのホーム開催
【開催間隔】	今後決定

「広さ」の全国リーグとしてより多くの地区代表クラブが優勝争いを行うことでリーグ全体の盛り上げを狙う。

6. 今回のご支援がバンビシャスと奈良の未来をつくる



売上高・利益が40百万円増えると

現リーグ B2ライセンスクリア (B3降格回避)

※黒字化・債務超過解消できなければB3降格

+

新リーグ：B.LEAGUE ONE(全国)への参戦が可能

※黒字化・債務超過解消ができなければB.NEXTから、あるいは新リーグへ参戦不可

(さらに)2024年度中にアリーナ建設の確定の可能性があり

24-25シーズン中に現BリーグのB1ライセンスの取得可能性、25-26シーズンB1へ

7.これまでのご支援の進捗

(3/14時点までの確定分)



大変ありがたいことに、すでに**2,500万円***近いご支援をパートナー企業様、ファン・ブースターのみなさまからいただいております、**残り約1,500万円強**となっています

*|パートナー協賛約1,865万円、クラウドファンディング約580万円、試合会場での募金約14万円など



最後に、あらためてのお詫びとお礼、お願い



1. 現在のバンビシャスの状況

今期約40Mの赤字で着地見込みです。

皆様のご支援のおかげで売上毎年成長してきていますが、赤字になるとクラブライセンス交付規則によりB3に降格します。ご支援に応えられておらず、本当に申し訳ないです。

またみなさまのこれまでのご支援、本当にありがとうございます

2. バンビシャスの未来とみなさまへのお約束

- 今期の黒字化と債務超過の解消でB2残留、B.ONE参戦を成し遂げ、今まで以上に奈良にとって誇りとなるクラブとなります。
- **降格制度のないB.革新**においては、今後このような経営危機を招かぬように健全経営を実現し、**皆様からのご支援を地域に還元していく**ことを約束します。

➤ **だからこそ、将来のためにもご支援・ご協力をお願いします。**

補足資料



株式会社バンビシャス奈良



過去の入場者推移と今季(23-24シーズン)実績



- ✓ 目標の2,400名には未達であるものの、これまでの1.5倍の平均入場者数(約1,700名)を達成している
- ✓ B.ONEの仮ライセンス(1,500名)は達成している状況

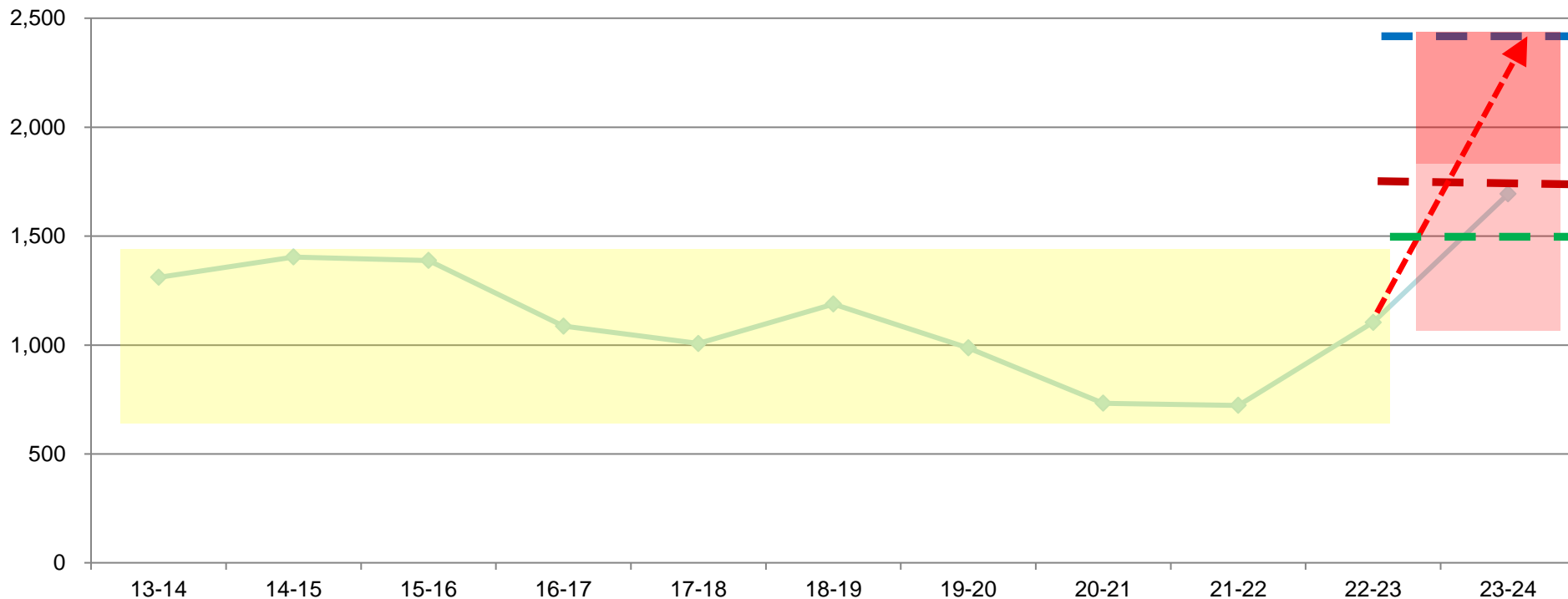
過去10シーズンの平均入場者は、
約1,100名

現在入場者数：1,745名
(3月3日時点)

目標：2,400名

1.5倍
最低ライン1,500名突破中

平均入場者数



B.ONE基準
最低ライン
1,500人
突破中

今季の入場者数実績



- ✓ 今季はこれまで20試合(3月3日時点)でのべ**38,382人**の方にご来場いただいています
- ✓ すでに昨季年間実績の約33,000人を**上回っており**、ご来場・応援に厚く感謝申し上げます

